

市民のチカラ

市内で活躍する
さまざまな団体をご紹介します

NPO法人

子育て応援スペースとことこ

子どももママもパパも みんなを大切にしている子育てを応援

代表の平湯友子さんが「子育て応援スペースとことこ」を立ち上げたのは平成16(2004)年。当時はまだ民間の子育て支援が少ない中で開設でした。保育士・幼稚園教諭だった平湯さんは、「子育ても子どもも地域のいろんな人に見守られていくといいな」という思いから、親子の交流が園以外でも広がる場を増やしたり、保育の隙間を埋めるサポートをしたりする、そんな子育ての応援活動を開始しました。

子どもが小さい頃に利用し始めたママたちが歌を歌いに来てくれたり、近所の方がコーヒーを淹れてくれたりする日もあったか。ここで顔見知りとなつて、施設外でも交流する親子も多く、そのつながりは地域へ広がっています。また、子育て相談やプレママ・プレパパ講座、パパが主役の講座なども開催していて、夫婦や家族をチームとして支えていく環境も整えられています。

現在、「子育て応援スペースとことこ」では、親子が自由に遊びに来ることのできる「とことこおやこひろば」と、一時預かり保育や定期利用保育を設けた小規模保育室「とことこ保育室」を運営しています。

模保育室「とことこ保育室」

「とことこ」の運営を32名のスタッフで行っています。特に、利用者の年齢制限を設けていない「とことこおやこひろば」

は、多世代交流がとて盛ん。小学生と赤ちゃんとんの交流をはじめ、

「この活動にはキャッチフレーズが二つあって、一つは『大人も子どももみんながまんなか』。大人も子どもも一人ひとりが大事にされる場所でありたい、ということ。もう一つが『晴れの日も雨の日もあそびにおいで』。子育てをしていると、うれしい『晴れ』の気持ちのときもあれば、思うようにいかななくて『雨』の気持ちになるときも。どんな気持ちも持ち寄って、ちよつとほっこりできる場所でありたい。実家のように、気軽に立ち寄れる場所にしていきたいです」と平湯さん。

子育て応援スペースとことこ

2004年に認可外保育室「子育て応援スペースとことこ」を開設。施設開放日としておやこひろばを同時に開始。2015年、認可園（小規模保育室）となり、2018年に「とことこおやこひろば」が市の地域子育て支援拠点事業に認定。2025年2月「とことこおやこひろば」をリニューアルオープン。さらに、4月以降には、子どもの一時預かり時に保護者が休める場所を設けたスペースも設置予定。



リニューアルオープンした「とことこおやこひろば」。憩いの場として親子同士や多世代の交流の場に



スタッフの皆さんも大切に。それぞれに合った働き方で「とことこ」を支えます



平湯友子さん

保育室と地域の子どもたちが交流するのは「とことこおやこひろば」ならではの